

令和 6 年度		
氏 名	ながおか ひろあき 長岡 洋明	
生 年	昭和 31 年生	
住 所	山梨県上野原市	
品 目	上野原せいだ芋（上野原産ジャガイモ） ・ 天明の大飢饉の際に、甲州代官（中井清太夫）が長崎から取り寄せたジャガイモ栽培が奨励され、多くの人々が飢死の危機から救われた。上野原の人々は、感謝を込めて、ジャガイモを「清太夫芋」、「せいだ芋」と呼称。 ・ 小粒のジャガイモ（通称：たまじ）を利用した市の郷土料理「せいだのたまじ」は、山梨県の「特選やまなしの食」に選定 ・ 「せいだのたまじ」は学校給食にも組み込まれ、「せいだ芋」の歴史と物語が描かれた「せいだイモのはなし」は、県内・市内の学校の学習教材	
技 術	地域の伝統的ジャガイモ栽培の継承・地域ブランド化、六次産業化支援 ・ 100 年以上「せいだ芋」栽培が引き継がれてきたほ場を先代（第三代）から平成 21 年に継承し、「せいだ芋」の栽培を開始 ・ 令和 2 年には、「せいだ芋」の栽培促進グループ「上野原せいだプラント」を発足し、代表に就任	
活 動 状 況	・ 「上野原せいだ芋」の統一したブランドイメージの構築（商品ロゴ等の開発、ブランド管理と周知活動） ✓ 収量安定と品質確保のため、栽培工程表と出荷規格表を作成し、生産者に配布 ✓ 「せいだ芋」の歴史と文化資料を作成し、市の HP 等で公表 ✓ 品質安定化に向けて市内の複数ほ場の土壌や「せいだ芋」の成分分析を実施 ✓ 故郷の物語と美味しさを届けるため、企業と共同して、「せいだ芋のポテトフライ」を開発、本格焼酎「芋大明神」の開発、販売 ・ ブランド化に関する視察等を積極的に受入（特許庁、経済産業省、JETRO、山梨大学六次産業コーディネーター） ・ 「上野原市ふるさと納税特産品開発事業」、「2024 年度輸出プロモーター事業」（JETRO）における、商品開発、販路開拓の助言、指導	
相 談 に 応じられる 分野・内容	・ 地域ブランド構築 ・ 特産品の開発 ・ 販路開発支援	
受 賞 歴 等		
主 な 役 職	平成 21 年～現在 近江屋ながおか 代表 平成 25 年～現在 甲州芋大明神奉賛会 幹事 令和 2 年～現在 上野原せいだプラント代表	
H P	https://om-nagaoka.com/ （近江屋 ながおか）	



上野原せいだ芋（上野原産ジャガイモ）



上野原せいだ芋の栽培風景



郷土料理「せいだのたまご」



市内に祀られるジャガイモの神様「芋大明神」



特産物①：「本格焼酎 芋大明神」



特産物②：「せいだ芋のポテトフライ」



絵本「せいだイモのはなし」



栽培推進団体「上野原せいだプラント」